

特別仕様書（ため池工）

三 次 市

第1章 総 則

第1条 適 用

1. この仕様書は、工事施工の適正を期するための仕様書であり、広島県土木工事共通仕様書基準、農林土木工事共通仕様書（広島県農林水産局）に優先するものとする。
2. 工事施工にあたっては、契約図書及び、広島県土木工事共通仕様書、農林土木工事共通仕様書（広島県農林水産局）、農林土木工事施工管理基準（広島県農林水産局）、建設工事執行規則に準拠するほか、この特別仕様書に定めるものとする。

第2条 協 議

1. 設計図面・契約書及び工事現場で不明なこと、計画設計内容等に変更が起きた場合は、直ちに監督員と協議すること。
2. 工事の内容及び工法等について、関係者及び地元役員等から変更の申し入れがあった時は、必ず監督員に報告し、協議決定してからでないと変更してはならない。

第2章 材 料

第1条 コンクリート

1. 生コンクリートは高炉セメントB種を使用するものとし、JIS 指定工場で生産されたコンクリートを原則とするがこれらによらない場合は、監督員の承認を得ること。

示方配合は次のとおりとする。

用 途	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	設計基準強度 N/mm ²	水セメント比 W/C
無筋構造物	40	8	18	60 以下
一般鉄筋構造物	20	8	21	55 "

第3章 工 事 施 工

第1条 盛 土

1. まき出し厚は、転圧回数の標準は次のとおりとし、最大乾燥密度のコア 95%以上、ランダム 95%

以上になるよう締め固めること。

盛土の種類	使用機種	まき出し厚 (cm)	仕上り厚 (cm)	転圧回数 (回)	備 考
コ ア	タイヤローラー	20	13	10	
ランダム	〃	30	22	8	
コ ア	振動ローラ	20	13	8	
ランダム	〃	30	22	4	
コ ア	タンパ 60～100kg	10	7	8	
ランダム	〃	20	14	4	

ただし、施工に先だって転圧回数等及び品質管理値は試験盛土を行い決定する。

なお、本設計は計画土取場における土の標準的な数値であり、施工にあたっては土取場の土質変わりごとに監督員と協議を行い、必要により土質試験等を実施して設計の変更及び施工計画を変更するものとする。

第2条 施工管理

1. コア、ランダムの透水係数は下記のとおりとする。

透水係数 コ ア $K=1 \times 10^{-5}$ cm/s

透水係数 ランダム $K=1 \times 10^{-3} \sim 10^{-5}$ cm/s

第3条 そ の 他

1. 建設工事に係わる暴力団による工事妨害について

暴力団から工事妨害の被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告するとともに被害届けを速やかに警察へ提出すること。

警察から被害届け受理証明書が交付され、かつ、工程の調整を行ったにもかかわらず工期に遅れが生ずるおそれがある場合は、建設工事請負契約約款（以下「約款」という。）第21条の規定による工期延長申請書に当該証明書を添付して提出すること。

第4条 発生土等の処分について

本工事により発生する建設発生土は、下記の処分先を見込んでいる。

- ① 処分場所 株式会社アラタ建設発生土処分場
- ② 運搬距離 L=17.2km

- ③ 受入条件 6：00～20：00
- ④ 受入費用 平日の受入れ費用
- ⑤ 提出調書等 提出を義務付ける。

本工事により発生するコンクリート塊（無筋、有筋）は、下記の処分先を見込んでいる。

- ① 処分場所 中国レミテック(株)
- ② 運搬距離 L=12.0km
- ③ 受入条件 6：00～20：00
- ④ 受入費用 平日の受入れ費用
- ⑤ 提出調書等 提出を義務付ける。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

第4章 諸経費の取扱いについて

当該工事の請負額は、当該工事の入札時に同一地区内で工事施工中(以下「指定工事」という。)の施工業者が、当該工事についても請負った場合には、両工事の設計額の合計額により定まる率によって算定した諸経費から指定工事に係る諸経費を控除した額をもって再計算し変更する。

第5章 週休2日制工事について

本工事は週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「三次市週休2日適用工事等実施要領」に基づき実施すること。